

## 【社会科・地理歴史科・公民科】

### 1 社会科・地理歴史科・公民科における課題

- 主体的に社会の形成に参画しようとする態度や、資料から読み取った情報を基にして社会的事象の特色や意味などについて比較したり関連付けたり多面的・多角的に考察したりして表現する力の育成が不十分である。
- 社会的な見方や考え方については、その全体像が不明確であり、それを養うための具体策が定着するには至っていないことや、近現代に関する学習の定着状況が低い傾向にあること、課題を追究したり解決したりする活動を取り入れた授業が十分に行われていない。

【幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について 平成28年12月 中央教育審議会（答申）】

### 2 これからの社会科・地理歴史科・公民科教育に求められるもの

- 社会との関わりを意識して課題を追究したり解決したりする活動を充実すること。
- 知識や思考力等を基盤として社会の在り方や人間としての生き方について選択・判断する力を育んでいくこと。
- 自国の動向とグローバルな動向を横断的・相互的に捉えて現代的な諸課題を歴史的に考察する力を育んでいくこと。
- 持続可能な社会づくりの観点から地球規模の諸課題や地域課題を解決しようとする態度など、国家及び社会の形成者として必要な資質・能力を育んでいくこと。

【幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について 平成28年12月 中央教育審議会（答申）】

### 3 学習指導要領の主な改善点について

#### 小学校

- ・ 各学年の目標を、三つの柱に沿った資質・能力として整理・明確化し、第3学年及び第4学年の目標と内容については、系統的、段階的に再整理された。
- ・ 内容について、①地理的環境と人々の生活、②歴史と人々の生活、③現代社会の仕組みや働きと人々の生活の三つに整理された。
- ・ 現代的な諸課題や持続可能な社会づくりに関わる内容の充実が図られた。
- ・ 社会との関わりを意識して学習の問題を追究・解決する学習の充実を図り、学習過程において「主体的・対話的で深い学び」が実現するよう指導方法の不断の見直し、改善を図ることとされた。

【小学校学習指導要領解説 社会編 平成29年6月 文部科学省】

#### 中学校

##### 【地理的分野】

- ・ 世界と日本の地域構成に関わる内容構成が見直された。
- ・ 地域調査に関わる内容構成が見直された。
- ・ 世界の諸地域学習における地球的課題の視点が導入された。
- ・ 日本の諸地域学習における考察の仕方が柔軟化された。
- ・ 日本の様々な地域の学習における防災学習が重視された。

##### 【歴史的分野】

- ・ 歴史について考察する力や説明する力の育成が一層重視された。
- ・ 歴史的分野の学習が構造化、焦点化された。
- ・ 我が国の歴史の背景となる世界の歴史、民主政治の来歴や人権思想の広がりなどについての学習、様々な伝統や文化の学習内容の充実が図られた。

##### 【公民的分野】

- ・ 現代社会の特色、文化の継承と創造の意義に関する学習、課題の探究を通して社会の形成に参画する態度を養うことが一層重視された。
- ・ 現代社会を捉える枠組みを養う学習、現代社会の見方・考え方を働かせる学習の一層の充実が図られた。
- ・ 社会に見られる課題を把握したり、その解決に向けて考察、構想したりする学習、国家間の相互の主権の尊重と協力、国家主権、国連における持続可能な開発のための取組に関する学習が重視された。

【中学校学習指導要領解説 社会編 平成29年7月 文部科学省】

#### 高等学校

##### 【地理歴史科】

- ・ 共通必修科目としての「歴史総合」と「地理総合」を設置し、選択履修科目として「日本史探究」、「世界史探究」及び「地理探究」を設置する。

##### 【公民科】

- ・ 共通必修科目としての「公共」を設置し、選択履修科目として「倫理」及び「政治・経済」を設置する。

【幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について 平成28年12月 中央教育審議会（答申）】